

第4回 安東陽子（大25）（2020.4.22）

卒業して43年、今も昔も県内在住の大25回安東(西本)陽子です。

つい最近、学生時代のアルバムを整理していたら思いがけないものがでてきた。茶色く変色したそれは47年前の地元新聞。そこには『大分大学合格者発表』の文字とともに、今では考えられないことだが高校名と氏名の記載が。早速、今でも変わらず交流が続く仲間5人にLINEで送った。即座に「私の名前が無い」と返してきた友もいた。思わず笑ってしまったが、皆、姓が変わって久しい。時の流れを感じた。

さて、学生時代のゼミは人気の大谷真忠ゼミ。卒論テーマには女性の就労が長続きしないのは何故なのかを取上げ、ご指導いただいた。当時、産前産後休暇は各6週間、育休、保育所、学童保育などの環境が整ってなかったのはあったが、結婚・出産したら仕事を辞めてもいいという女性自身の意識にも問題があるのではないかと自分なりに結論づけ、私は一生働き続けるぞと思ったものだ。

実際、4年前に退職するまで結婚、出産、3人の子育てをしながら時に働き方を変え、ほぼ途切れることなく共働きを続けた。特に最後の20年間は自分なりに充実した期間だったと思う。勤務先は一昨年亡くなられた田中康生前四極会相談役が社長をされていた会社だった。田中さんは知る人ぞ知る厳しい方で、幾度となく大声で叱責され涙を流したものだ。今となってはいい思い出だが。

しかし、今こうしてリレーメッセージへの寄稿依頼を受けたのは田中さんとのご縁があったからこそであり、また、田中さんを通して知り得た多くの先輩や後輩の活躍ぶりを目にし、耳にするにつけ、今更ながら経済学部の卒業生であることを誇りに思っているところだ。

コロナ禍などで大変な世の中ですが、卒業生の皆さん、どうぞ健康にはお気をつけてください。